

高島市朽木市場の「昭和 28 年台風 13 号」災害写真集

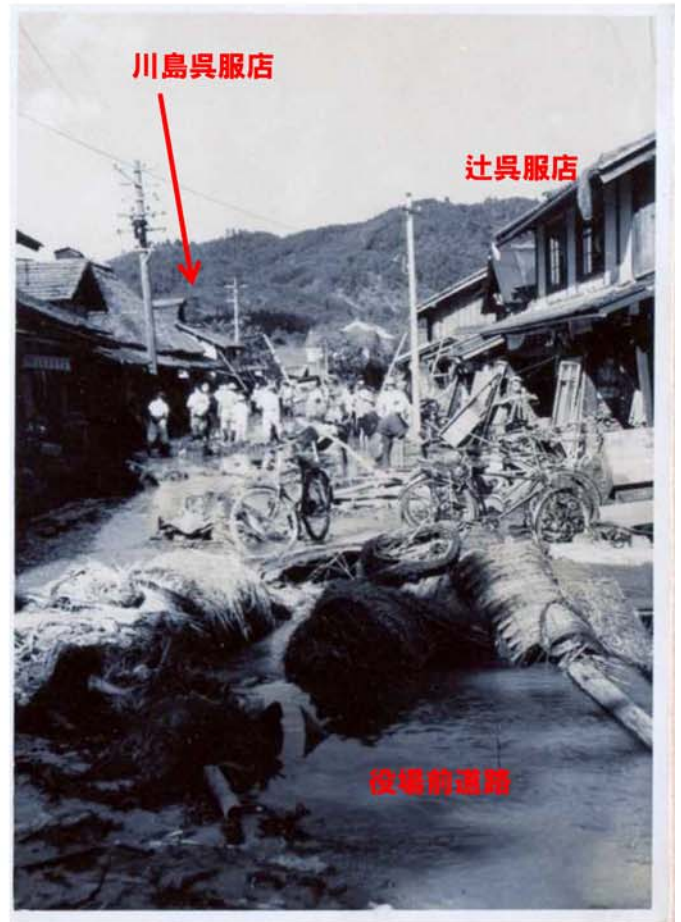
★写真提供：元朽木村役場職員 餅（もち）忠三氏・高島市教育委員会

★写真詳細説明：元朽木村役場職員 澤本長久氏

1-「市場集落被災状況」

- ・旧役場前の道路 ー役場前あたりから撮影
- ・川島呉服店 ー左奥の白い妻の屋根

このあたりに役場



2-「市場集落被災状況」

- ・ 1 の写真の中央奥側から役場前の道を見る
- ・ 中央の三角屋根は、旧朽木村役場
- ・ 右、看板のある家は、川島呉服店
- ・ 水が引き、家の中の泥や泥だらけの畳・家具などが表に集められている



3-「旧朽木村役場の入り口」

- ・門の内側が少し高くなって、スロープになっているので、道路側に水が流れている
- ・現在は、JA 西びわこ朽木



4-「旧朽木村役場裏手」

- ・復旧作業





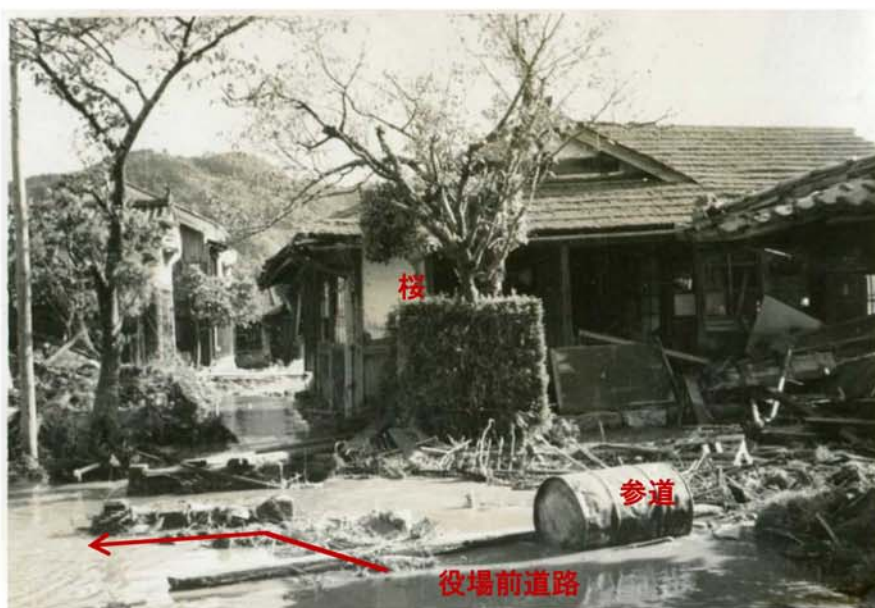
5-「慶宝寺参道付近」

- ・ 役場前の道路を、突き当たり、慶宝寺参道側から見たところ。
- ・ 看板のある家は、川島呉服店
- ・ 写真6・7と同じ場所で、撮影は逆方向



6-「慶宝寺参道入り口付近」

- ・ 道路が冠水してる。
- ・ 写真7と同じ場所
- ・ 参道沿いの家の住民が、洪水で流されたとき、この桜の木につかまって助かった



7-「慶宝寺参道入り口付近」

- ・ 写真6と同じ場所。少し水が引いたところ



8-「壊れた家屋」

- ・場所は不明



9-「壊れた家屋」

- ・場所は不明

10-「参道沿いの家」

- ・慶宝寺本堂へ通じる参道沿いの倒壊家屋
- ・屋根は杉皮葺き





11-「市場集落内惨状」

- ・ 役場前の通りの、一筋山側の通り



12-「市場集落内惨状」

- ・ 写真 11 の中央部分拡大



13-「市場集落内惨状」

- ・ 写真 12 の道路より右を撮ったところ
- ・ 撮影時は、写真 12 に写っている大きい家具などが片づけられていることから時間差があるよう
- ・ 手前水たまり（空き地）に、白い土塀の蔵が映っている

14-「市場集落内惨状」

写真 12 と 13 を重ねたところ



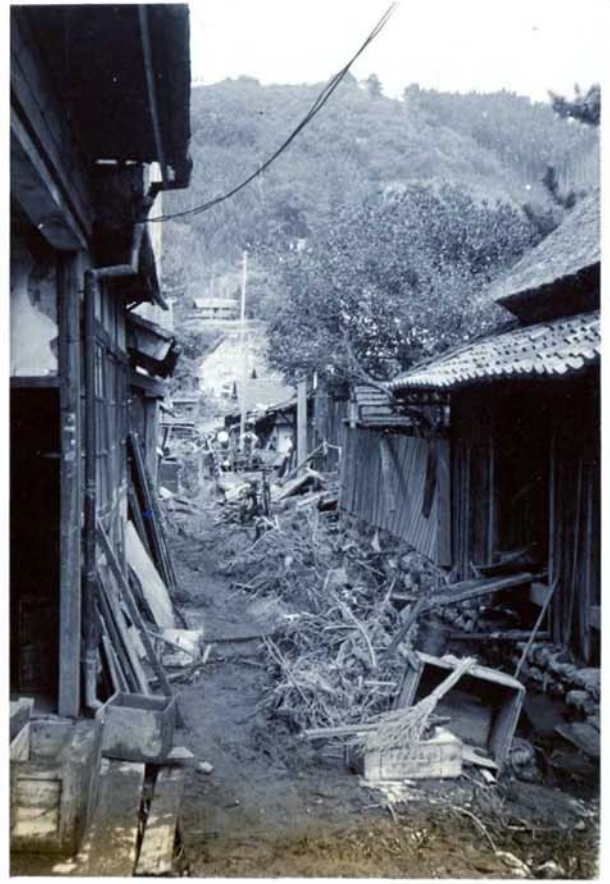
15-「市場集落内惨状」

- ・ 写真 13 の蔵の向こう側
- ・ 写真左側の木と、写真 13 の右の木が同じ



16-「市場集落内惨状」

- ・写真 11 中央の丸八百貨店の角から、左手を見
ところ
- ・山手を臨んだところ。山との段差は20m程度



た

11-「市場集落内惨状」



17-「朽木村国保診療所」



- ・前の大屋根の建物が診療所
- ・見えないが、その奥に入院できる別棟があり、病床が5床ぐらいあった
- ・伝染病の隔離病棟もあった
- ・内科と外科の先生が一人ずついて、ここで手術をした
- ・場所は、現高島市役所朽木支所の裏当たり。平屋建て。今は、市営住宅が建っている
- ・前の道路沿いに幅 1.5m ぐらいの川がある
- ・市場から安曇川下流の集落の診療所に行くよりも、朽木奥地の集落からここまで来る方が、時間がかかるので、ここへも入院させていた

18-「山神橋(さんじんばし)付近の河川敷きにあった家屋」

- ・北川の河川敷の、山神橋付近にあった民家。北川が増水して、冠水したため倒壊
- ・屋根は杉皮葺き、平屋
- ・市場側の河川敷





北川からの氾濫水

安曇川決壊による洪水

19-旧「朽木郵便局前」

- ・場所は、山神橋上流側一筋目左へ
- ・北川からの氾濫水と、安曇川決壊による洪水の両方が押し寄せた
- ・道路には様々なものが流れてきている。白い大きい機具は、農機具の『とうみ』



20-旧「朽木郵便局前」

- ・道路の泥土の搬出作業をする人たち
- ・背中の背負子（しょいこ）に泥を入れて、運ぶ
- ・一人ずつ、泥を入れてもらっている婦人会の人ら

21-旧「朽木郵便局前」





22-「家屋に突き刺さった丸太」

- ・正面の長い木材—朽木では夏の土用に木を伐り、それをそのまま山肌に寝かせて乾燥させること（土用切り）が多いので、長い木材はそれが流れてきたと思われる
- ・木材が家に突き刺さっているように見える
- ・場所不明



23-「倒壊した小屋」

- ・屋根に布団が干されている
- ・場所不明



24-「残された流失物」

- ・水が引いた後に残されたのは、さまざまな流失物。バケツや桶・木箱などの、生活用品が散らばっている。
- ・屋根に布団が干してある。
- ・場所不明

25-「倒壊した家と散乱する流木・流失物」

- ・場所不明



26-「稲掛けの被害」

- ・刈った稲を干す稲掛けも倒れている
- ・場所不明





27 -「安曇川の「切れと」-決壊箇所」

- ・安曇川の流れがいつも同じ場所に当たり、何度も切れるので、「切れと」と呼ばれている



28-「安曇川決壊箇所「切れと」の仮復旧工事」

- ・集落にいつまでも水が入らないよう、水の向きを変えるために、流れのきついところに、杭を打ってある
- ・竹を網代に編んで土のうを積み、杭を打つ

29-「決壊箇所「切れと」の仮復旧工事」 27と28をつなげたところ



「切れと」の状況



30-「切れと」

- ・堤防決壊箇所。
- ・決壊後、砂利が堆積

31-「水制工」(すいせいこう)

- ・「切れと」の数日後。応急処置の、「水制工」
洪水時の速い水の流れから堤防を守るため、直接堤防に水がぶつからないように、水の流れを中央方向に向けるように設置される。この場所のこれは、竹で作った応急処置なので、このままにしておくと水が浸みってくる



32 -「崩落した学校への取付け道路」



- ・ 高台にある小学校への取付け道路が、崩落
- ・ 安曇川の堤防が「切れと」で決壊して押し寄せてきた洪水が、一時この道路でせき止められていたが、耐え切れず崩壊し、その水が集落に流れ込んだ
- ・ 上流からのたくさんの流木が石積みを叩いたことも、崩落原因のひとつ
- ・ 写真右側に石積みの様子がみえる

33-「青年団による、集落の消毒作業」



34-「青年団による、集落の消毒作業」



35-「決壊道路の調査」

・場所不明



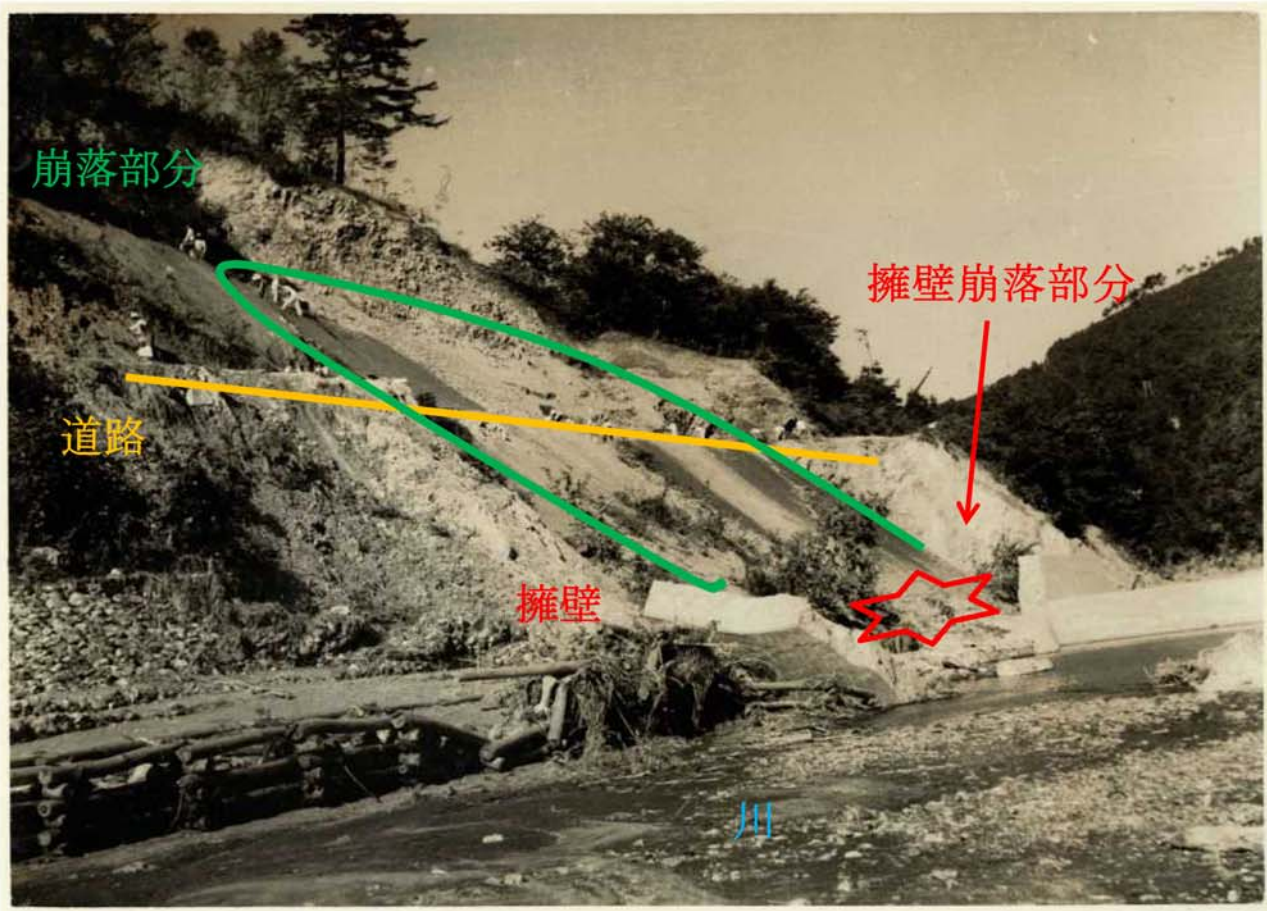
36-「決壊道路の調査」

・写真35の拡大



37-「道路流失被害」

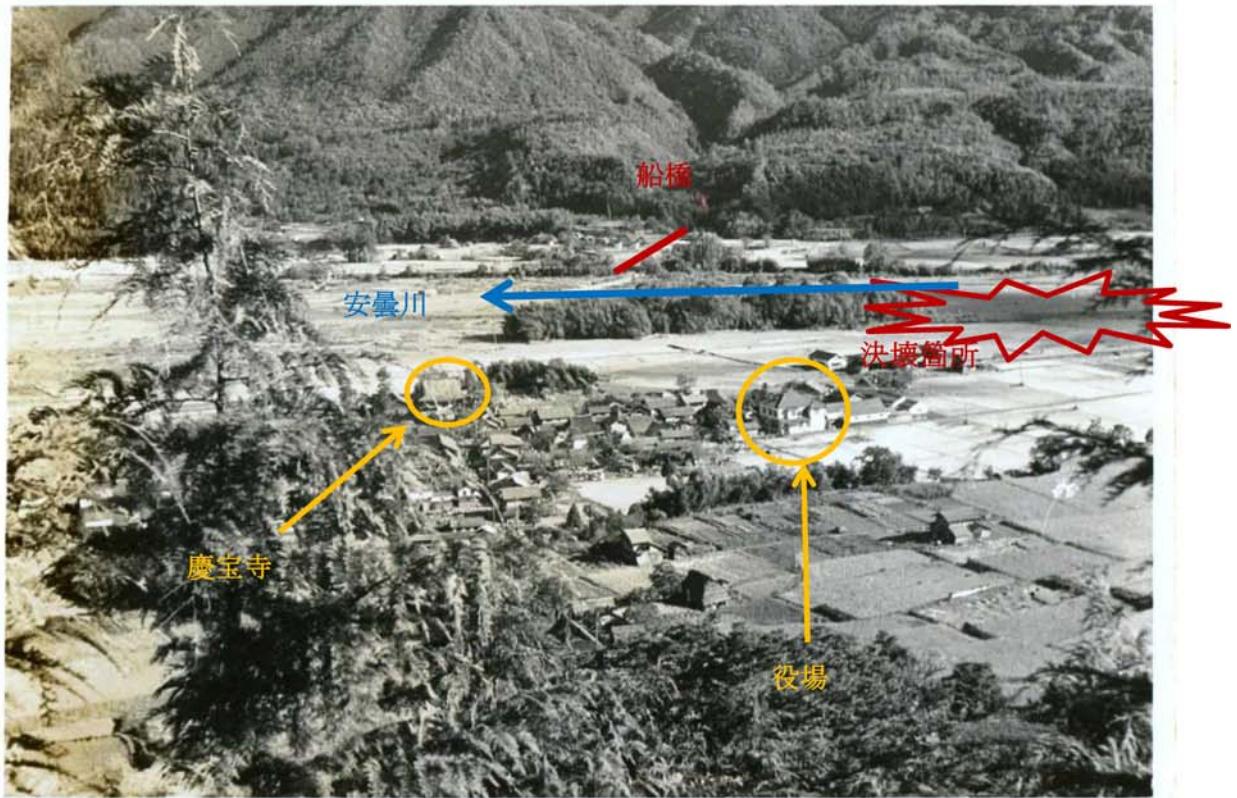
- ・山の斜面と道路が崩落。川の擁壁が崩落
- ・場所不明



38-「道路復旧作業をする人々」

- ・写真 37 の道路崩落部分
拡大

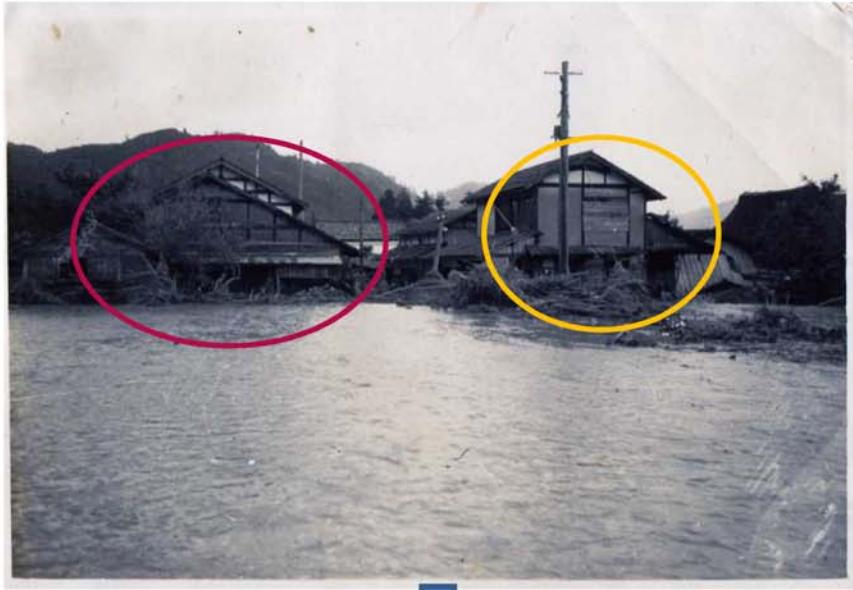
39-「安曇川堤防決壊箇所付近」



- ・ 小学校より下流側の高台から、安曇川堤防決壊箇所付近を見る
- ・ 右が上流で、この竹藪の先が切れてる

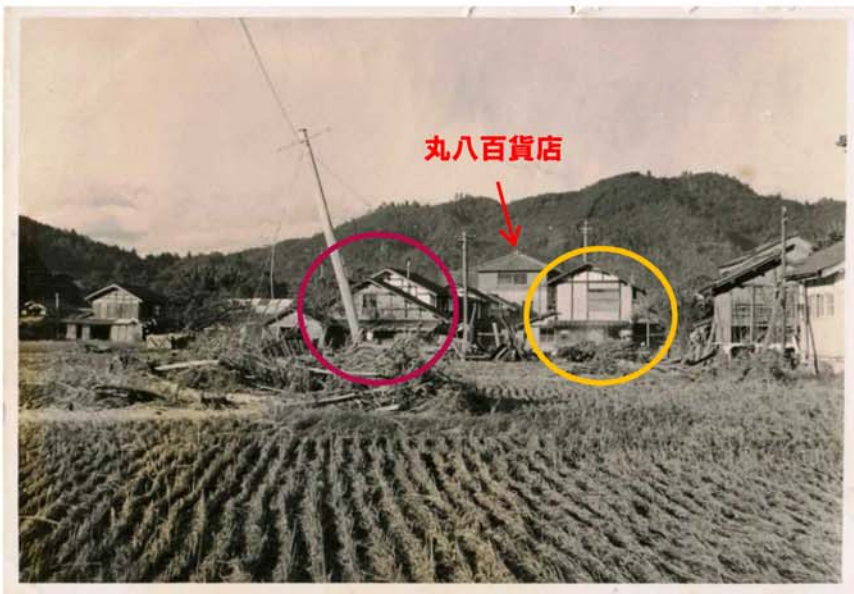
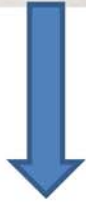
40-「安曇川船橋の崩壊」(対岸の宮前坊側から見る—正面が市場側)





41-「冠水した農地と家」

- ・写真 42 と同じ場所—冠水している
- ・両方の写真の○印の家が同じ



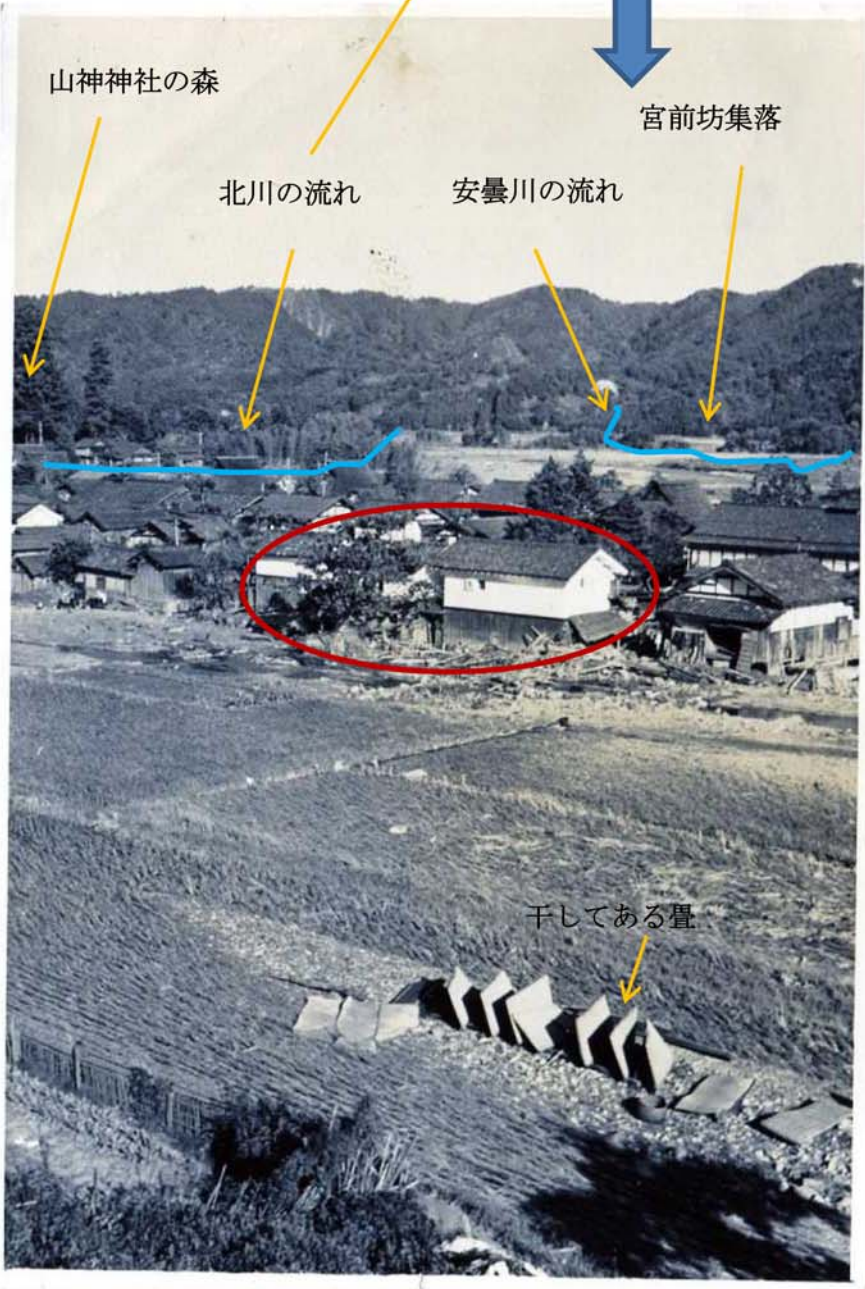
42-「水の引いた農地と家」

- ・写真 41 と同じ場所—田んぼの水が引いたところ
- ・両方の写真の○印の家が同じ



43-「小学校の辺りから見た集落」

・44 と同じ風景

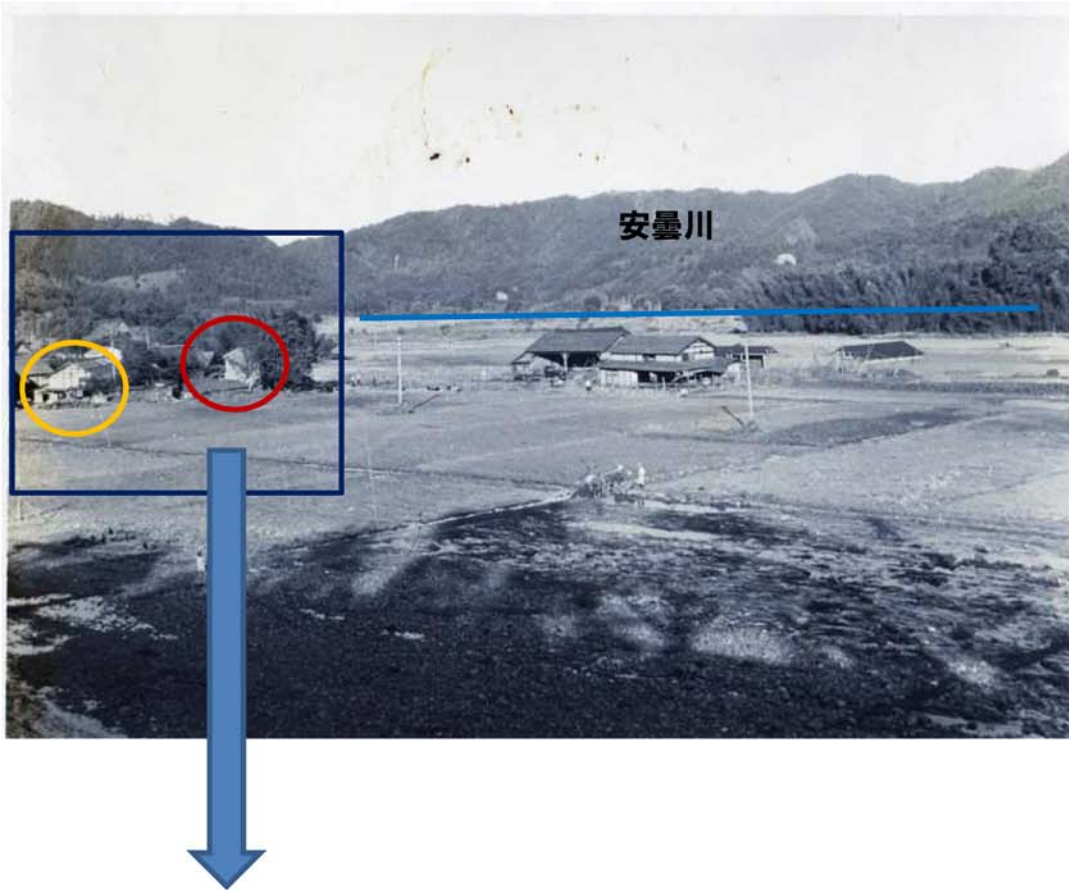


44-「小学校の辺りから見た集落」

43 の写真の右側拡大写真

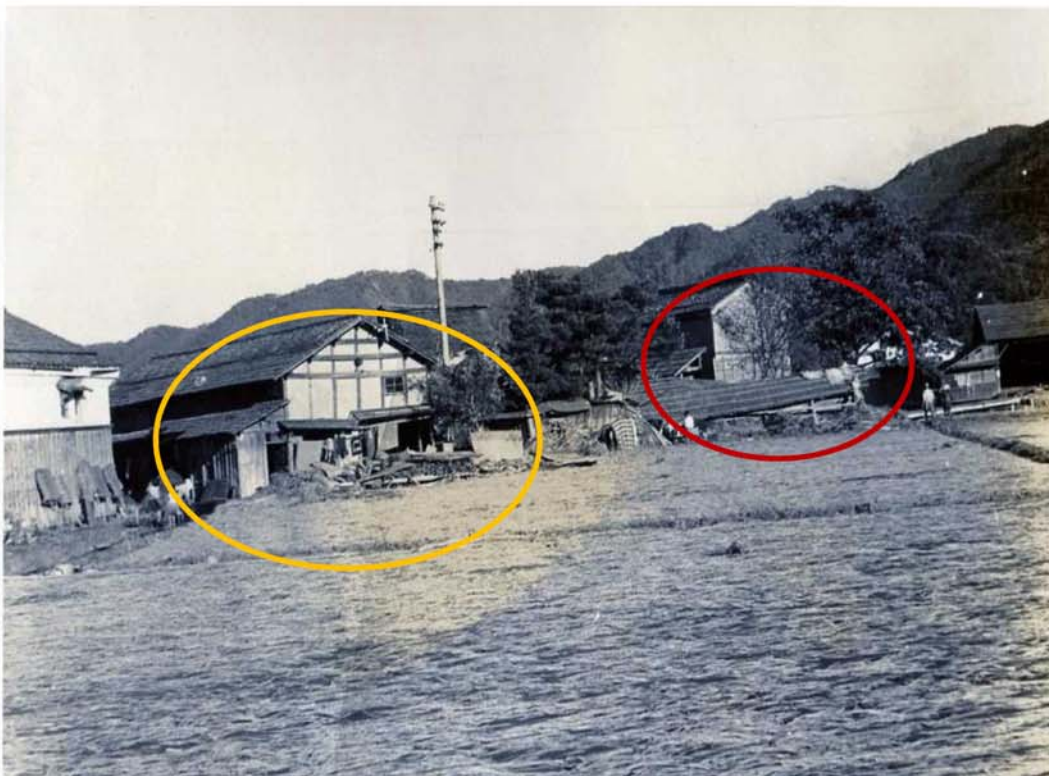
- ・水の引いた農地
- ・安曇川と北川の合流地点付近の遠景
- ・集落の向こう側に、見え隠れする安曇川と北川。

45-「農地」



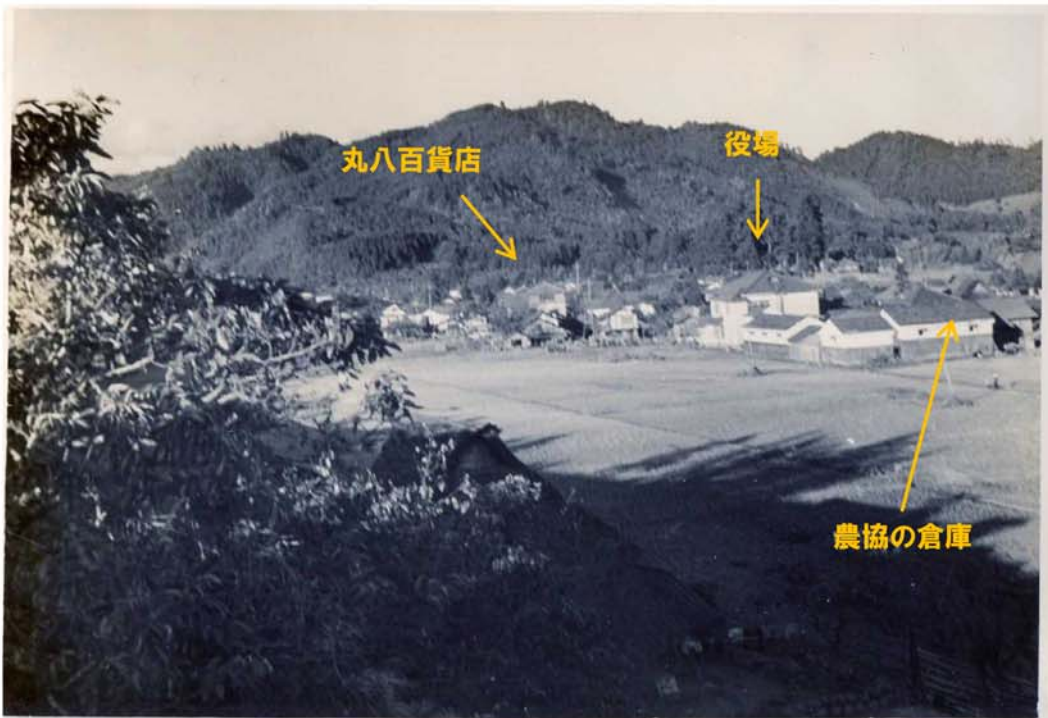
・竹やぶの向こうは
安曇川

46-「農地」



・写真 45 の左側の拡
大写真
・片づけをしている
人々が見える。

47-「市場集落遠景」



・朽木中学校側から見た「市場の集落」



48-「冠水した農地を行こうとする人」

・場所不明
・救援物資を背負った人が、膝までの水の中立ち往生

49-「冠水した農地を行こうとする人」

・写真 48 の拡大
・救援物資を背負った人が、膝までの水の中、民家に向かおうとしているのか。



50・51・52・53-「奉仕の人たち」



50

・今津などの近隣集落や、市場周辺（岩瀬・古川・宮前坊・野尻など）などから、救援物資を持って来てくれた人々

・安曇川荒川橋が落橋して、車等が道を通れなくなったので、荒川橋手前の安曇川町長尾から、荷物を肩に担ぎ、山道（旧県道）を歩いて、市場へ向かう青年団をはじめとする奉仕の人たち

51



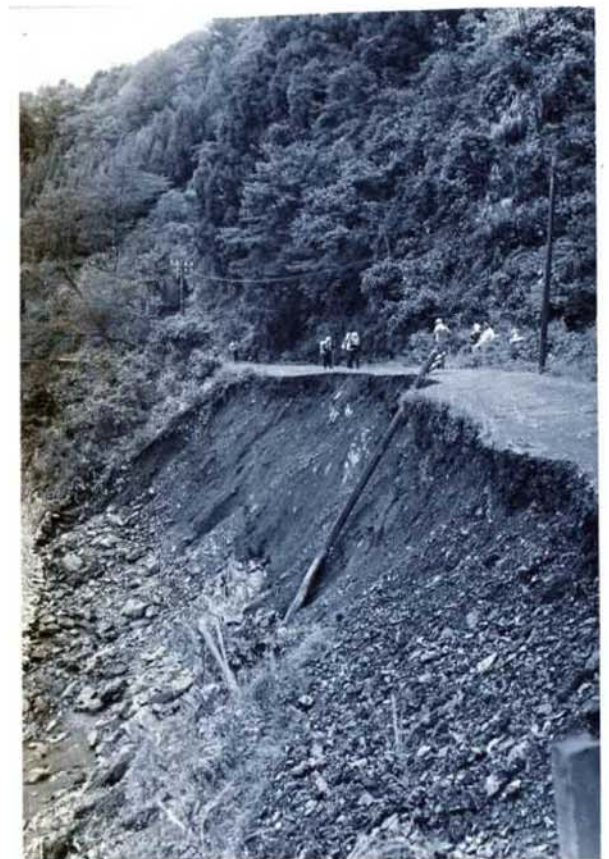
10kg20kg の荷物を背負い、崩れた山道から市場へ

53



52

旧県道もあちこち崩落している





54-「崩落した安曇川の荒川橋」

- ・山奥の小さな橋のわりには、板橋でなく、立派な橋だった。地元が一部負担したのではないかと思われる
- ・この橋が落ちたので、市場に入るには、旧県道の山道を歩いて行くしかなかった

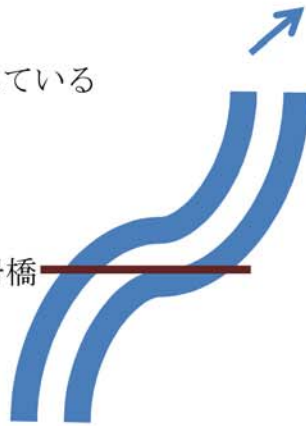
55-「安曇川沿い」

高岩橋のしもあたり

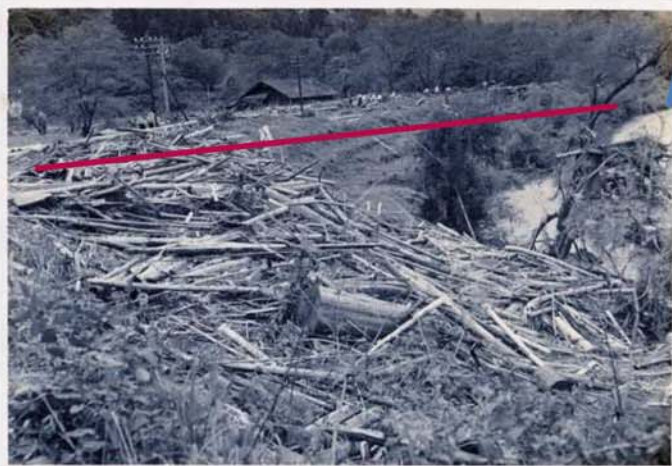


- ・流れてきた木や枝などが、流れのカーブしているところに溜まっている

高岩橋



56-「安曇川沿い」



- ・高岩橋方面
- ・— は旧県道。背中に救援物資を背負い、歩いて奉仕作業に向かう人たち